



令和5年4月12日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「科博の標本・資料でたどる日本の哺乳類学の軌跡」 開催及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2023(令和5)年4月25日(火)から8月16日(水)までの期間、下記のとおり、企画展「科博の標本・資料でたどる日本の哺乳類学の軌跡」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち **4月24日(月)午後3時30分から午後5時の間**、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

2023年は日本で初めて哺乳類を研究する学術団体ができて100周年の年であり、日本の哺乳類が世界に紹介されるきっかけとなったシーボルト来日の200周年の年になります。本展では、国立科学博物館の哺乳類標本と関連する資料を用いて、我が国の哺乳類研究の歩みを紹介します。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

- 【企画展名称】 企画展「科博の標本・資料でたどる日本の哺乳類学の軌跡」
【開催場所】 国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階 企画展示室
【開催期間】 2023(令和5)年4月25日(火)～8月16日(水)
【開館時間】 午前9時～午後5時

※4月29日(土)～5月7日(日)および
8月11日(金)～8月15日(火)は午後6時まで
※入館は閉館時刻の30分前まで。

- 【休館日】 月曜日、6月27日(火)～30日(金)
※ただし5月1日(月)、6月12日(月)、7月17日(月)・24日(月)・31日(月)、
8月7日(月)・14日(月)は開館
※会期等の変更となる場合があります。

- 【入館料】 一般・大学生：630円（団体510円）（税込）、高校生以下及び65歳以上無料
※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます。団体は20名以上。
※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

- 【主催】 国立科学博物館
【後援】 日本哺乳類学会
【展示概要】 別添の本展チラシ参照
【お問合せ】 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

TEL：03-5814-9840、9883、9887、FAX：03-5814-9898、E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp



キリン（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）

令和5年4月12日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「科博の標本・資料でたどる日本の哺乳類学の軌跡」

報道内覧会のお知らせ

2023(令和5)年4月24日(月)午後3時30分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「科博の標本・資料でたどる日本の哺乳類学の軌跡」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

【日 時】 2023(令和5)年4月24日(月)
午後3時30分～午後5時(受付開始 午後3時～)

【会 場】 国立科学博物館(東京都台東区上野公園7-20) 日本館1階企画展示室

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

午後3時～ 受付開始(受付場所: 日本館1階守衛室前)

午後3時30分～午後5時 報道内覧会

※午後3時30分から約30分間、本展の監修をした国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【入館に際してのお願い】

- ・次の方は、ご参加をお控えください。
 - 平熱と比べて高い発熱がある
 - 咳、くしゃみ、鼻水、咽頭痛など風邪のような症状がある
- ・受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
- ・会場内の「3密」を防ぐため、入場を制限する場合があります。
- ・間隔調整のため、各展示は譲り合ってご覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・会場内での会話は大声を出さず、必要最小限にお控えください。

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **4月20日(木)午後5時まで**に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp までメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「哺乳類学会」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【本展監修者】



動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹

川田 伸一郎（かわだ しんいちろう）

専門分野は哺乳類分類学。特にモグラ類の系統分類に関して形態学的分析と核型分析を中心とした分析を行っています。また、哺乳類を中心とする動物の研究史についても研究を行っています。当館では陸棲哺乳類標本のキュレーティングを受け持っています。モグラからゾウまで、哺乳類の標本収集活動を続けてきました。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9840、9883、9887

FAX:03-5814-9898

E-mail:kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①企画展「科博の標本・資料でたどる
日本の哺乳類学の軌跡」ポスター



②ジャイアントパンダ（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



③コビトカバ（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



④オカピ（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



⑤キリン（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



⑥イリオモテヤマネコ（髹し皮）
（所蔵：国立科学博物館）



⑦シャープグリズボック（本剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



⑧ツチブタ（仮剥製）
（所蔵：国立科学博物館）



⑨コウベモグラ（フラットスキン）
（所蔵：国立科学博物館）

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898

E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

科博の標本・資料でたどる

日本の哺乳類学の軌跡

Tracing the Trajectory of
Mammalogy in Japan

ハチ！
生誕100年
おめでとう!!

戦後の日本の哺乳類学を先導
今泉 吉典

科博で初めて
哺乳類を専門的に研究
波江 元吉

Mammaliaを「哺乳動物」と翻訳
宇田川 榕庵

日本の博物館の父
田中 芳男

日本の哺乳類を
ヨーロッパに紹介
シーボルト

100年以上前に
ドイツから来たんだ

「世界三大珍獣」を選抜
高島 春雄

こう見えても
キリンの親戚なの

日本人初の哺乳類学徒
青木 文一郎

天然記念物なのに
狩られてます

2023
4.25 TUE
8.16 WED

国立科学博物館
(東京・上野公園)

→ 日本館 1階企画展示室

開館時間：午前9時～午後5時

※4月29日(土)～5月7日(日)および

8月11日(金)～8月15日(火)は午後6時まで

※入館は閉館時刻の30分前まで

休館日：月曜日・6月27日(火)～30日(金)

※ただし5月1日(月)・6月12日(月)・7月17日(月)・7月24日(月)・31日(月)

8月7日(月)・14日(月)は開館

入館料：一般・大学生630円(団体510円)

※常設展示入館料のみでご覧いただけます。※団体は20名以上

※高校生以下および65歳以上は無料



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

【主催】国立科学博物館 【後援】日本哺乳類学会

【お問い合わせ】TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898

【ホームページ】<https://www.kahaku.go.jp/>

※会期等は変更となることがあります。※入館方法の詳細はホームページをご覧ください。

未来をつむぐ、 継承のものがたり。

2023年は日本で初めて哺乳類を研究する学術団体ができて100周年の年であり、日本の哺乳類が世界に紹介されるきっかけとなったシーボルト来日の200周年の年になります。本展では、国立科学博物館(科博)の哺乳類標本と関連する資料を用いて、我が国の哺乳類研究の歩みを紹介します。

科博の標本・資料でたどる 日本の哺乳類学の 軌跡

第1章

日本における 哺乳類学の始まりと発展

日本の哺乳類は、今から約200年前に外国人によって初めて研究されました。その後、明治時代になると日本人の専門家が登場し、1920年代には哺乳類の分類も進められます。1923年、日本で初めて哺乳類の学会が発足しますが、哺乳類研究が本格化するのには戦後のことです。まずは我が国における哺乳類研究の歴史を先人たちに注目して振り返ります。



僕は研究用のなめし皮、
タイプ標本だよ

剥製種類クイズ

Q 次の剥製の種類(方法)を
正しいものと結んでみよう。

仮剥製

本剥製

フラットスキン

研究用の標本。
袋状に毛皮を剥いた後、中に綿を詰めて縫い合わせたもの。まるで「ぬいぐるみ」。

研究用の標本で、最も簡易なもの。袋状に剥いた毛皮の内部に厚紙を挿入し、平らな状態で乾燥させたもの。

生きていた形状や姿勢を再現した内部構造を持つ、展示用の毛皮標本。博物館展示で最も一般的な哺乳類標本。

答えと詳しい解説は
会場でご確認ください。



チラシに登場する標本たち

(表面・左上から)イヌ(ボルゾイ)、クチバテングコウモリ、コビトカバ、タイワンザル、キリン、ヤマジャコウジカ、ジャイアントパンダ、アジアゾウ、シベリアアイベックス、オカビ、ニホンカモシカ
(裏面・上から)シャープグリスボック、イロオモテヤマネコ、コウベモグラ、ツチブタ

第2章

科博と哺乳類学

日本の哺乳類学の歴史において、科博は標本の集積と啓蒙普及に重要な役割を担ってきました。ここでは科博が誇る哺乳類コレクションの時代的変遷を概観しながら、哺乳類学とともに発展してきた標本の製作技術についても紹介します。



監修者から 展示の楽しみ方

国立科学博物館
動物研究部
脊椎動物研究グループ
川田 伸一郎

普段展示には出さない秘密の研究用標本。その中から僕のお気に入りを入りを厳選しました。標本は誰かがどこかで何らかの目的で収集したものです。それぞれにエピソードがあります。哺乳類学の歴史だけでなく、標本の歴史にも思いを馳せてみませんか？

第3章

哺乳類学の 現在とこれから

第二次世界大戦以降、科学技術の進展と、私たちの自然環境への関心が高まってきたことにより、哺乳類の研究分野も多様化してきました。先人たちから受け継がれてきた哺乳類学はこれからどこへ向かうのか。その未来を見据える博物館の取組みを紹介します。



- JR / 「上野駅」公園口から徒歩5分
 - 東京メトロ銀座線・日比谷線 / 「上野駅」7番出口から徒歩10分
 - 京成電鉄 / 「京成上野駅」正面口から徒歩10分
- ※当館には駐車場および駐輪場はございません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
Tel 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
Fax 03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>
※詳細はホームページをご覧ください。



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science